

## 医療法人偕行会 偕行会城西病院 院長 錫村明生

### SPECT 検査導入で 認知症の確定診断が可能に 初期の認知症も診断し 的確な治療に結びつける

錫村 明生（すずむら あきお）  
1975年、名古屋第二赤十字病院 内科、神経内科。80年、名古屋大学医学部 第一内科（神経内科）。83年、米国ペンシルヴァニア大学 医学部神経内科。2020年、名古屋大学環境医学研究所神経免疫教授。17年、偕行会城西病院 院長。

偕行会城西病院（名古屋市中村区）は病床数120の病院で、特に高齢者診療に力を入れてきた。5月からSPECT検査を開始、認知症の確定診断が可能になった。これまで難しかった認知症の確定診断が「地元でできる」と大きな期待が寄せられている。

#### ——新しくSPECT検査の機器を導入された理由から伺います。

錫村 主な目的は認知症の確定診断のためです。認知症にはアルツハイマー型のほかにも20～30の種類があり、それぞれの認知症で脳内の血流低下がみられる部位が違います。これをSPECT検査で診ることができるのです。高額な検査機器を病院がよく買ってくれたと思いますが、それだけ必要なものだと考えています。

地元でSPECT検査ができるようになったことで、近隣の開業医にも声をかけ検査を勧め、啓蒙活動も行なっています。開業医からの紹介でSPECT検査を当院で受ける場合、通常なら煩雑な書類準備が必要ですが、当院では電話一本でできるようにして、検査後には当院でレポートをつけて開業医に戻すようにしています。5月10日からの検査予約は、6月の前半まで埋まっている状態です（4月20日時点）。

#### ——SPECT検査でできることは？

錫村 「脳血流SPECT検査」は脳の各部の血流状態や働きを診る検査で、MRIやCTではとらえられない「早期の脳血流障害」が検出できます。MRIだけでは、どんな型の認知症かが確定診断ができませんが、SPECT検査や認知症テストなど複数の検査を併用することで確定診断ができます。また認知症が疑われる人にSPECT検査を行って、初期の認知症が発見できるようになりました。

SPECT検査自体は新しいものではありませんが、最近では検査結果の解析力が格段に上がりました。以前は検査結果だけを解析しての診断でしたが、今は同じ年齢の人の状態、一般正常時の状態などさまざまなデータと比較して解析できるようになりました。他の検査と違い、SPECT検査による診断基準が確立しており、認知症の進行状況や重症度などまで確定診断ができるようになっています。

#### ——認知症の早期の確定診断が必要な理由は何？

錫村 適切な治療や投薬をそれだけ早く開始できるからです。「認知症の薬が出来た」といわれますが、これは全体の50～60%を占めるアルツハイマー型に効果があるものです。しかも病状を改善するものではなく、進行を抑制し少し遅らせるだけです。レビー小体型認知症など他の認知症には効果が無いとされ、血流低下を改善する薬などが投与されています。早期の診断ができれば、重症化を早く抑制し無駄な投薬をせず、より適切な治療が可能になるのです。

現在行われている認知症テストで、脳の「機能的」な診断はある程度出来ますが、正常と異常の間の状態の人（MCI）に対しては、まだ診断基準がばらばらで確定していません。認知症テストでMCIの疑いがある場合、SPECT検査をすれば「解剖学的」にMCIの確定診断ができるのです。

#### ——SPECT検査を中小の病院で導入するメリットは？

錫村 認知症の確定診断が大病院に行かずとも地域の病院でできるようになることです。大病院のSPECT検査は脳腫瘍、脳梗塞など重篤な病気の検査に使われることが多く、SPECT検査で認知症と診断される割合はわずかです。中小の病院でSPECT検査が導入されれば、認知症診断をメインにして検査ができます。当院がある名古屋市中村区は高齢者が多く、以前から認知症対策にも力を入れてきました。私は神経内科が専門ですが、外来患者の半分以上が認知症がらみです。

また当院では認知症カフェ（認知症患者や家族、認知症に関心のある人が集まり交流・情報交換する場所）が、多くの医者が注目していなかった5年以上前から、院内で平日毎日開催してきました。その活動は名古屋市からも注目されています。認知症カフェでは音楽療法や運動療法を行ない、家族の相談も受けています。高齢者医療に力を入れ、このようにソフト面が充実している当院で、SPECT検査を導入してハード面も充実させる意味は大きいと思います。



SPECT（スペクト）装置

#### ——どんなときにSPECT検査を受ければ良いでしょうか。また料金は？

錫村 保険適用ができるため、料金は一割負担の方で一回7000円ほどで比較的受けやすいです。65歳以上の6人に1人が認知症ですので「65歳を過ぎたら、何か症状が出るたびにSPECT検査による検診を」とお勧めしています。

名古屋市では「物忘れ検診」がワンコインで行なわれていますが、検査を受ける率が大変低いのです。「認知症と診断されるのが怖い」のですね。ワンコイン検診で疑わしいと出た場合、当院の神経内科外来、もの忘れ外来を受診しSPECT検査を行ない、認知症の早期発見につなげることが一番良いのですが、それでもなおかつ物忘れ検診に来る人の中で、認知症と診断される人が少ないのは、認知症か、と心配し検診すること自体が認知症でないことが多いからです。当院の場合、多くは親族が「最近、おばあちゃんの様子がおかしい」と連れてくるケースで、その場合はほとんどが認知症です。

#### ——SPECT検査は主に認知症の診断に使われますが、他の診断もできますか

錫村 使用する薬剤を替えれば、パーキンソン症候群の診断や脳梗塞、脳出血の発症後の脳の状態も分かります。体の各部位の血流の状態も測定できますので、心筋の状態、癌の状態、脳血管の状態も診られます。将来的にはそうした病気の検査にも広く活用されていくことになるでしょう。